

授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	鴨川市立西条小学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 記述問題の正答率、特に「方法・手順の説明」「理由の説明」を問われる問題の正答率が低いという調査結果から、本校児童は、自身が処理に用いた方法や、その手順についての説明、考えの根拠を説明することを苦手としているという課題が見えてきた。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 問題解決場面における児童の「考え方」を見付け、集め、使ってみる姿に着目し、その姿を引き出すような問題や展開を工夫することで、自分の考えをもって進んで問題解決をすることができるようになっていくと考え実践を行った。また、説明を必要とする場面に重点をおき、児童の説明する力の向上に努めた。

3. 具体的な実践

- 職員の代表者3人による年3回の公開授業研究会と全職員による校内授業研究会を実施
- 第1学年「かさくらべ」「ひきざん(2)」「大きなかず」
 - ・「だから」「～なので」といった、理由を説明する発表モデルを示すことで、考えを整理して発表できるようにしていった。
 - 第4学年「割合」「面積」「変わり方」
 - ・自分の考えや解の根拠を明確にできるように、問題設定や教師の問い返しを工夫していった。
 - 第6学年「立体の体積」「資料の調べ方」「場合を順序よく整理して」
 - ・授業で見付けた「考え方」に価値付けをし、蓄積していくことで、その後の問題解決場面でも、自分で「考え方」を選択して解決できるようにしていった。
 - その他全学年での授業研究会
 - ・「考え方」を見付ける、集める、使ってみるの学習サイクルを取り入れた授業づくりを行った。

4. 成果

- 方法や手順、理由を説明するときに「まず～、次に～」「～だから～です。」と話をする姿や、考えを整理して記述する力の向上が見られた。
- 根拠を示して説明する力や、他者の発表を聞いて考えを理解したり、自分の考えとつなげたりする姿勢が見られるようになった。
- 問題解決に用いた「考え方」の手順や、その「考え方」を選択した理由を述べたり記述したりする力に向上が見られた。

◆担当指導主事から（南房総教育事務所 指導主事 榎本 正信）

- 1年目は「考えの跡」を記述させることから「問題場面の理解」「解決の見通し」「記述する力」を高め、2年目はさらに、問題解決場面における児童の「考え方」を見つけ、集め、使ってみる姿に着目して、自分で「考え方」を選択して解決できる児童を目指しています。検証授業を参観して、学びの積み重ねから児童の説明力や理解力が高まっていることが感じられました。